



人権についての理解を深め、実践意欲を高める ～人権週間の取組～

法務省と全国人権擁護委員連合会が定める人権週間（12月4日～10日）に併せ、本校では11月17日～12月10日を校内人権週間として、人権について理解を深め、実践意欲を高めるために様々なことに取り組み、そのまとめとして10日（金）に「にこにこ集会」を開催しました。

前半は、縦割り班ごとに集まり、保護者の方にも協力していただいた人権標語を班の中で発表しました。標語だけでなく、それにまつわる思いも伝えることで、友だちの考えた標語をしっかり受け止めることができました。

後半は、全員が体育館に集まって、生活委員会の進行で歌「手をつなごう」、ゲーム「どっちがすき」を行いました。ゲームは、どっちが好きか伝え合うことで、考えが違うことはいけないことではないことに気づいたり、同じ気持ちに共感したりすることで、他者理解や自己理解につなげていきました。

最後に私からは「自分のことを好きであってほしい。それと同じくらい友だちのことも好きになってほしい。」と話をしました。



3・4年生に習った手話で全校合唱



低学年の目の高さに合わせる素敵な姿

にこにこの木（ほっとハートコーナー）

友だちのよさやがんばりを見つけてカードに書き、ホールのにこにこの木に貼っています。以下は昼の放送で全校に紹介されたものの一部です。

- 図書当番さんがいつも忘れずに当番してくれるから本を借りられるよ ありがとう
(1年あかり)
- 6年生が「一緒に野球やる？」って言ってくれてうれしかったです (2年湯浅陽斗)
- なわとび集会で1年生さんががんばってとんでいていいなと思いました (3年初音)
- 文化祭のリハーサルの時5年生さんが「手話が上手だったよ」と言ってくれてうれしかったです (3年紗季)
- 4年生の友だちが体育の時にチームをしっかり支えていていいと思いました (4年遙絆)



にこにこの木

12/20～1/20の主な予定

- 12/21 (火) 6年二中ブロック小学校連携
事業&情報科学高校生との交流
- 12/23 (木) 給食最終日
- 12/24 (金) 2学期終業式
- 12/29 (水)～1/3 (月) 学校閉庁
- 1/10 (月) 成人の日
- 1/11 (火) 3学期始業式、街頭指導
- 1/12 (水) 給食開始
- 1/14 (金) 全校朝礼、校内書初め会
- 1/15 (土) ひまわり教室
(大塚ふれあいセンター)
- 1/20 (木) 学習公開日

楽しかった修学旅行

6年生は12月2日(木)～3日(金)に1泊2日で修学旅行に行ってきました。当初は9月に広島方面で計画をしていましたが、新型コロナウイルスの関係で、県外に行くことができなくなり、予定日も変更せざるを得なくなりました。

昨年度の宿泊研修も行くことができなかった学年のため、修学旅行は何とかして行かせてやりたいと少し寒い季節でしたが実施できて安心しました。

行程は、古代出雲歴史博物館→神門通り(自由行動)→アクアス→宿泊(石見神楽鑑賞)→暁が浦→石見銀山→永井隆記念館とかなりハードなもので、特に石見銀山は雨が降る中、約6kmのコースをひたすら歩きました。

詳細は学校のHPで紹介しているのでそちらをご覧ください。



5年生にお手紙が届きました

島根大学教職大学院：福間先生から5年生に手紙が届きましたので一部を紹介します。

(前略)今回、藤原先生とともにコンビニのことを学習されました。それを通して「社会がつながっているから、こんな便利な暮らしができているんだ」ということをしっかりつかみとることができていて、まずここが一番すごいと思ったところです。みなさんの書かれた最後の「便利のひみつのまとめ」をすべて読ませてもらいました。三島沙愛さんの文章の末尾「お客さんだけでなく、みんながとくをするようになっている」これを読んでハッとしました。

今の世の中はともすると、大人でさえ、ついつい自分さえよければいいじゃないかと考えてしまいがちです。みんながとくをする世の中になっていくべきだ。三島さんはきっとそういうところまで考え、感じられたんじゃないかと思いました。同じことを授業中にも感じました。友だちが困っているのを見かねて助けている姿、「先生緊張してるんじゃない？」と師を気遣うやさしさ、あちらこちらにみなさんの学級の温かさを感じながら見せてもらっていました。(後略)

福間先生には昨年度から研究授業に関わっていただいております、子どもたちの様子もよくご存じです。子どもたちの学習面での成長をほめていただいておりますが、今回学級の支持的雰囲気や担任と子どもたちとの関係性まで見ていただき、さらに手紙という形で子どもたちに伝えていただいたことにただただ感謝です。

新型コロナウイルス対策が続いている状態で幕を開けた2021年。開催するべきかどうか最後まで議論を続けた東京オリンピック・パラリンピックは子どもたちに感動を与えてくれた場面が多々ありました。オミクロン株が今後どれだけ広がるのか不安もありますが、2022年が皆様にとって良い年であることを心よりお祈り申し上げます。